

# 那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

## 第9回 「一般団体向けプログラム」

那須平成の森には、希望に応じて内容や時間、コース等を設定し実施する団体向けの有料プログラムがあります。1年間に約80団体、約2,000人が参加します。参加者は、小中学校や旅行会社が企画するツアー、山歩き同好会、社会教育団体、企業研修など、多岐に渡ります。

このプログラムでは、参加者が「ガイドウォーク」または「自然体験」を選択します。「ガイドウォーク」は、インタープリターが自然の仕組みやここに生息する生き物たちの生活史を紹介するもので、最も分かりやすいプログラムです。

一方、「自然体験」は、参加する一人一人の感性をより尊重するプログラムで、私たちは重要な活動と捉えています。例えば、『色探し』というアクティビティ。見本の色カードを渡して、その色と全く同じ色の自然物を探してくる活動です。

色名の情報だけで探す場合もあります。「利休鼠（りきゅうねず）」という色は、葉茶の緑みを形容したもので、緑みがかったグレイ



大人も夢中になって探します！

このアクティビティのねらいは「自然を詳細に観察すること」、「自分や他者の価値観を共有すること」。

自然を理解するためには、知識だけでなく「センスオブワウンドー（不思議さを受容する感



「日本の伝統色」と同じ色は、自然の中にあるかな？

性」があれば、さらに豊かに自然からのメッセージを受け取ることができます。特別な自然ではなく、ご自身の身近な自然を新たな視点で発見してほしい、その先に自分自身の自然に対する感性や価値観を育ててほしい、それらがプログラムを通して、私たちが伝えたいことです。

那須平成の森フィールドセンター  
インタープリター 若林千賀子

## かつこう

「Think CIVILITY（礼儀正しさ）」という本を読んだ。本の著者はクリスティーン・ポラスという米国の大学の准教授で、「愛する父が長年に渡って、無礼な上司に苦しめられる姿を見たこともあって、職場の無礼を研究することに人生を捧げることを決めた」という。

▼ポラスの調査によると、職場で誰かから無礼な態度を取られていると感じている人のうち、約50%の人は仕事にかけられる労力や時間を意図的に減らすという。少し驚いたが、自分が尊重されず価値ある存在と認められなければ、仕事に対するやる気を失うのはもっともだろう。また、直接、理不尽な扱いを受けた本人だけでなく、それを見ていた周囲の人の集中力や思考力が落ちるといふ調査結果もあった。

▼ポラスは、「無礼な態度に

こんにちは

赤ちゃん



令和元年12月26日生

父 悠馬さん  
母 綾香さん  
小高冬羽くん（新高久）

冬羽くんは…

将来はマラソン選手です。みなさん応援よろしくお願いします。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。  
詳しくは総務課広報広聴係（☎72-6901）まで。

## 町の世帯と人口 (2月1日現在・住民基本台帳) ( ) の数字は前月比

●世帯数 10,426世帯 (+3)  
●人口 24,744人 (-12)  
男 12,319人 (-2)  
女 12,425人 (-10)

出生 8人 (+ 3)  
死亡 35人 (+ 5)  
転入 71人 (-21)  
転出 52人 (- 2)  
その他 6人

( )内は1月1日との比較